

# フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

東京・埼玉・千葉・  
神奈川の4都県で逼迫  
していた医療提供体制  
が改善されたと、21日  
に緊急事態が全面解除  
された。だが飲食店の

営業時間短縮は、9時  
まで継続とし、段階的  
に緩める考えを示して  
いる。だがこれからど  
んどん日が長くなっ  
て、春を実感する  
「日永」の季節だ。作  
家の角田光代さんの隨  
筆で「桜は律義で、何  
があっても桜は  
咲く」と書いた。  
桜に罪は無いが、  
例年より早い桜

の開花が、「解除」とい  
うキーワードに置き換  
えられない様、祈るば  
かりだ。  
複数の報道で中国・  
北京で黄砂が大気を  
覆った。3月15日には  
過去10年で最悪の状況  
だ。新型コロナウイルス

ス感染症にも心配され  
たが、黄砂と同様に空  
気を漂う大気汚染物  
質とされるPM2.5  
(微小粒子状物質)は、  
新型コロナウイルスの症状への  
影響が指摘されてい  
る。人気絶頂期に解散  
したキャンディーズの  
お別れの曲「微笑がえ  
し」の旅立ちと別れを  
引越しの様子に例え  
た歌い出し「春一番が  
掃除したてのサッシの  
窓にほこりの渦を躍ら  
せています」情緒ある  
ほこりが、毎日の生活  
に与える影響にも危惧

される時代で、これが  
らの情報に注意するべ  
きなだろう。  
女流棋士の中倉彰子  
さんは、将棋の体験教  
室などで最初に礼儀作  
法を教える時、3つの  
札から教えるという。  
盤上に駒を並べたら  
までの道のりを含め、  
その精神を養うのか、  
そして自ら認めること  
変化が待っているとい  
う。藤井聡太さんが敗  
れ、深々と頭を下げる  
場面がメディアで注目  
されたが、以後の快進  
撃の原点になったのだ  
ろう。何か問題  
が起きた時、深  
く反省する積み  
重ねがされてい  
たら、多くの社会混乱  
は起きないのでは無い  
のかと心が響く。  
第一生命保険が発表  
した2020年度、将  
来なりたい職業ランキ  
ング。小学生の第1位  
が「パティシエ」だっ  
たほかは、男子の小中

## 自らを認めることで、大きな変化 にも対応できる事を知るべきだ

高生、女子の中高生は  
「会社員」がトップ。  
在宅勤務が広がり、自  
宅で仕事をする親の姿  
を身近に感じた子供が  
多かったと分析してい

る。コロナ禍で家族生  
活が見直されたのなら  
うれしいのだが。  
(信州地域社会フォー  
ラム会員・白馬村森上)



3月下旬春の嵐でなぎ倒されるサクランボの木。異常気象を身近に知る機会でもある